

ボランティア

平成の語り部

1 ひまわりガイド 北海道北竜町
☎ サンフラワー北竜 ☎0164・34・3321



ひまわりは北竜町の町花。同町のひまわり栽培面積は100㌖で、日本一の道の裏手に広がる「ひまわりの里」は、東京ドーム6個分(23%)。世界のひまわり100万本が開花。この7月から8月中旬の最盛期に開かれるのがひまわり祭り。期間中は北竜ボランティア協会のボランティアがガイドを務めるが、うち2日間は同町立北竜中の中学生がガイドする=写真。同中では総合学習として、ひまわりの栽培を授業に取り入れており、先輩から後輩へとガイド方法を受け継いでいる。

駅ではひまわりの種を使った菓子などを販売している。問い合わせは同町☎0164・34・2111。(深川留萌道北竜ひまわりICからR275)

2 まちの道先案内人 秋田県五城目町
☎ 五城目 ☎018・879・8411

五城目の朝市は、500年前、地頭・安東季宗の命で、町村に「市神」をまつらせ、市を開いたのが始まりと伝えられる。終戦直後までは月6回の開催だったが、現在は毎月2、5、7、0の付く日(月12回)に開かれるようになった。今でも下町(したまち)通り商店街には100軒近くの露店が連なり、にぎわいをみせる。「まちの道先案内人」は街中の休憩所に待機し、朝市の由来などを説明してくれる。問い合わせは同町☎018・852・5222。(秋田道五城目八郎湯ICからR285)

初夏は観光のベストシーズン。知らない土地を訪ねる「ワクワク旅行」も、現地に詳しいガイドがいるといないとでは大違い。近年は地元の人が、もてなしの心で務めるボランティアガイドが静かな人気を呼んでいる。観光パンフにも載っていないお得な情報を入手できたり、隠れた名所を案内してもらえるなどのメリットもある。その数全国でざっと1200団体ともいわれるボランティアガイド。その中から12地点をピックアップして特集する。(団体によっては有料の場合もあるので、事前にチェックを！)

3 ボランティアガイド「さぶ」 宮城県登米市
☎ 米山 ☎0220・55・2747

登米市(旧石森町)は「サイボーグ009」「仮面ライダー」など多くの名作を残して、10年前、60歳で世を去った「萬画家」石ノ森章太郎のふるさと。現在は生家のそばに「石ノ森章太郎ふるさと記念館」が建つ。記念館の建設を機に、幼少時の石ノ森を知る地元の人たちが集まって発足したのが、ボランティアガイド「さぶ」。

生家に残る思い出の品々や「思い出の小道」と名づけられた付近の自然をエピソードとともにガイドしている。会の名前の由来は、時代劇マンガ「佐武と市捕物控」と、「補助」の意味の英語「サブ」から取った。問い合わせは同記念館☎0220・35・1099。(東北道古川ICからR346)

4 大房ガイド 千葉県南房総市
☎ とみうら枇杷倶楽部 ☎0470・33・4611

大房岬は富浦湾と館山湾を区切るように突き出た岬。手付かずの自然が残る一方で、砲台などの戦争遺跡も残る。地元のNPO富浦エコミューズ研究会が中心となって、大房岬を案内する「大房ガイド」を養成している。大房ガイドが案内する岬探検ツアー(完全予約制、10人〜、1人500円、ガイドブック付き)=写真=は様々な側面から大房岬の魅力伝えてくれる。とみうら枇杷倶楽部は93年の第1回道の駅登録証の交付を受けた老舗の駅。問い合わせ・申し込みは同倶楽部。(館山道木更津ICからR127)

観光道先案内人

(小見出しは、ボランティアガイド名、所在地、最寄りの道の駅、駅の電話番号の順。文末のカッコ内は、高速道路1Cから道の駅に至る主なルート)

5 下田ボランティアガイド協会 静岡県下田市
☎ 開国下田みなと ☎0558・25・3500

1854(嘉永7)年の日米和親条約により開港となった下田港。当地の歴史を観光客に知ってもらうと、同市の募集に応じた市民スタッフが、伊豆急下田駅前の観光案内所に待機し観光案内をしている。平日は午前10時発、土・日曜日と祝日は午前10時と午後1時発の2回、観光コースを無料で案内してくれる。コースは、歴史の散歩道、伊豆の踊り子となまこ壁の2つ。団体と定刻以外の時間の場合は要予約(有料=1人100円)になる。このほか道の駅から出発する3コースも別にある。問い合わせは同協会☎0558・23・0308。(東名道沼津ICからR135)

6 池田町ガイドマスター 長野県池田町
☎ 池田 ☎0261・62・6200

信州安曇野の真ん中、池田は「美しい日本の歩きたくなる道500選」の長野県トップに選ばれた「北アルプス展望のみち」(全長18km)があり、トレッキング、ウォーキングコースが充実している。池田町ガイドマスターは、こうした里山トレッキングやウォーキングなど目的に応じたコースの紹介してくれるほか、同行案内もしてくれる=写真。ガイド内容も動植物から地元の民話、遺跡まで多岐にわたる。問い合わせは同町観光協会☎0261・61・1755。(長野道豊科ICから大町明科線)

7 竜王町観光ウェルカムガイド 滋賀県竜王町
☎ 竜王かがみの里 ☎0748・58・8700



竜王町は、西の竜王山(鏡山)と東の竜王山(雪野山)に抱かれた地で、神社仏閣や史跡が点在している。鏡山は、鞍馬山を下りた16歳の牛若丸がひとりで元服し、源義経となった地として知られ、多くのゆかりの場所が残る。町では、NHK大河ドラマ「義経」が2年前に放送されたのを機に、ボランティアガイドが観光案内活動をするようになった。基本は、駅から元服池、鏡神社、御幸山〜白木屋跡〜平宗盛塚〜蛙鳴かずの池など3コース。すべて、道の駅発着。(名神道竜王ICからR8)

8 田辺観光ボランティアの会 和歌山県田辺市
☎ 龍神 ☎0739・79・0567

義経に続くのは弁慶。熊野古道の入り口にあたる田辺市には、弁慶生誕の地とされる闘鶏神社があり、同市の観光ボランティアガイドの会の案内コースの定番になっている。会発足のきっかけは99年の南紀熊野体験博。各地から大勢の観光客が訪れたが、十分な案内ができなかった反省から誕生した。現在は月4回の定例会で、地域の歴史などを学ぶ。メンバーはJR紀伊田辺駅前の南紀田辺観光案内センターに常勤し、あらゆる相談に対応している。問い合わせは☎0739・25・4919。(阪和道みなべICからR371)

9 深山イギリス庭園案内 岡山県玉野市
☎ みやま公園 ☎0863・32・0115

道の駅は玉野市の中央部に位置する200㌖の広大な「みやま公園」に隣接。園内には300種15万本の木々がある。その公園の中に、2000年に市制60周年記念として建設されたのが市立深山イギリス庭園。イギリス人庭園技師、ピーター・サーマン氏設計による園内は、八つのテーマガーデンで構成され、多くの花や樹木が心を和ませてくれる。公園の良さをさらによく知ってもらうと発足したのが、ボランティアによる庭園案内ガイド=写真。花が大好き、自然が大好きな約20人のメンバーが設計者のコンセプトなどを解説してくれる。無料。問い合わせは同公園。(山陽道岡山ICからR30)

10 うだつの町並みボランティアガイド 徳島県美馬市
☎ 藍ランドうだつ ☎0883・53・2333

「うだつ」とは、1階の屋根と2階の屋根の間に、張り出すように設けられた小さな防火壁。江戸中期ごろから装飾的な意味合いで商家が競うように取り付けた。江戸時代中期に阿波藍の集散地として栄えた協町(現美馬市)は、今でも白壁に本瓦葺きの昔ながらの家屋が建ち並ぶ「うだつの町」として知られ、重要伝統的建造物群保存地区となっている。「うだつの町並みボランティアガイド」は、映画「虹をつかむ男」ロケで使われた協町劇場(オデオン座)、01年にオープンした町指定文化財・吉田家住宅(藍商)などを中心に案内している。(徳島道協町ICから鳴門池田線)

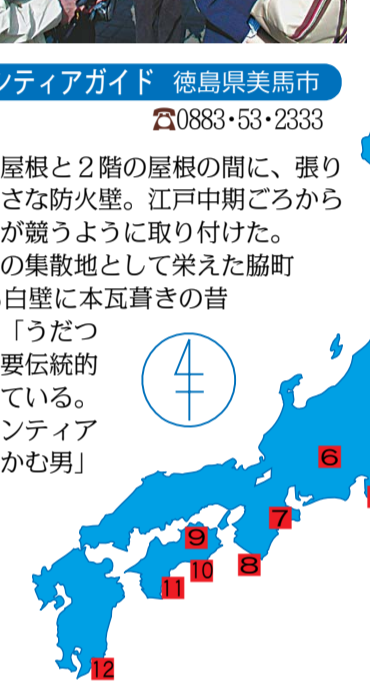
11 マイントピアを楽しく育てる会 愛媛県新居浜市
☎ マイントピア別子 ☎0897・43・1801



日本三大銅山のひとつ、別子銅山の跡地を、開坑300年を機にテーマパーク「マイントピア別子」として整備した=写真。江戸時代の採鉱場を再現したジオラマや鉱石を展示した観光坑道のほか温泉施設を併設。道の駅も兼ねている。館内を案内してくれるのが「マイントピアを楽しく育てる会」のメンバー。郷土の歴史に詳しい教員なども参加しており、本に載っていない秘話も聞ける。市内には別子銅山の近代化に尽力した広瀬幸平の業績を記念した広瀬歴史記念館などもあり、予約があれば、こうした施設の案内もしている。問い合わせは道の駅。(松山道新居浜ICから新居浜別子山線)

12 神話の語り部ガイドボランティア協議会 宮崎県
☎ フェニックス ☎0985・65・2773

市民の歴史同好会を中核に発足したボランティアガイド。予約制で、あらかじめ見学場所を決めて現地待ち合わせでガイドをしてくれる。また青島神社の観光インフォメーション(毎日)と江田神社(金〜日)にスタッフが待機し、その場でのガイドにも応じている。主な案内場所は伊弉那岐命がみそぎをした、みそぎ池や青島神社など。スタッフは、古事記神話を基本とした日向神話を学んでいる。問い合わせは同協議会事務局☎0985・20・8658。(宮崎道宮崎ICからR220)



- 1 ひまわりガイド
- 2 まちの道先案内人
- 3 ボランティアガイド「さぶ」
- 4 大房ガイド
- 5 下田ボランティアガイド協会
- 6 池田町ガイドマスター
- 7 竜王町観光ウェルカムガイド
- 8 田辺観光ボランティアの会
- 9 深山イギリス庭園案内
- 10 うだつの町並みボランティアガイド
- 11 マイントピアを楽しく育てる会
- 12 神話の語り部ガイドボランティア協議会

橋がつなぐ みんなの未来
社団法人 日本橋梁建設協会
http://www.jasbc.or.jp/

あなたの「橋の物語り」をお寄せください。

読者の皆さまのご当地自慢の橋をご紹介します。橋にまつわるエピソードやこぼれ話など、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1 虎ノ門パストラル内 NPO人と道研究会
「橋がつなぐ みんなの未来」係

桜の時期ともなると同岸は夏会場に大変身

昭和5年(1930)は、造幣局の桜の通りは、大阪大満宮の天神祭の船渡御と花火、春浪速つ子に彩りを与え、親しまれてきた桜宮橋(通称銀橋。そして、そのすぐ隣に完成したのが新桜宮橋です。新旧の銀橋を平行して架けることにより、これまでの銀橋の魅力もより引き立つてくる。この新旧の時間を超えた「対話」が、大阪の都市空間に奥行きと刺激を与え、浪速つ子に新たな命を吹き込んだのです。なかでも昭和48年(1973年)に完成した、関門橋は、先に完成した関門トンネルの混雑の緩和を目的に架けら

新連載 橋がつなぐ みんなの未来

Bridges bring our brighter future. vol.1

橋は、街と街、人と人をつなぐもの。そしてさまざまな人間模様が行き来する舞台でもありました。物語りが生まれるには、災害時でも丈夫で安全であることももちろん、橋の文化を守ることも大切です。

新連載「橋がつなぐ みんなの未来」では、日頃私たちが意識せず利用している新旧の橋を、私たちの生活の側面から一つひとつ紹介していきます。

第一号では、日本縦断で一挙に4橋をご紹介します。この連載が、読者の皆さまのドライブを充実させる橋渡しとなれば幸いです。

桜宮橋 Sakuramiya-hashi
大阪市北区天満橋・都島区中野町

昭和5年(1930)は、造幣局の桜の通りは、大阪大満宮の天神祭の船渡御と花火、春浪速つ子に彩りを与え、親しまれてきた桜宮橋(通称銀橋。そして、そのすぐ隣に完成したのが新桜宮橋です。新旧の銀橋を平行して架けることにより、これまでの銀橋の魅力もより引き立つてくる。この新旧の時間を超えた「対話」が、大阪の都市空間に奥行きと刺激を与え、浪速つ子に新たな命を吹き込んだのです。なかでも昭和48年(1973年)に完成した、関門橋は、先に完成した関門トンネルの混雑の緩和を目的に架けら

関門橋 Kanmonkyo
山口県関門市・福岡県北九州門司区

橋を渡る箱根登山鉄道は、急勾配と急勾配の山岳鉄道として有名

関門海峡の最も狭い部分には、源平最後の戦いである壇ノ浦の戦いである壇ノ浦合戦の古戦場や宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した嚴流島が点在し、ミネーションと橋脚部が架かっています。特に、年越しの瞬間の特別ライトアップは感動ものですよ。

早川橋梁 Hayakawa-kyoryo
神奈川県相模原市

四季の自然の中に 佇む最古の鉄橋

早川橋梁は、計画画により早川が氾濫して初から技術的な課題、足場は全て流失でも、路線の変更、土地買収鉄橋本体には全く影響の難航、第一次世界大戦の影響による鋼材の不足など多くの問題に阻まれました。そこで当時の鉄道院も残っています。払い下げの天竜川橋梁も残っています。「あじさい電車」が走ること8年をかけて大正6年でも知られる箱根登山(1917年)に完成した。架橋工事が終わり、総木製の足場を解体する直前、暴風雨

津軽地方と 南部地方の心を繋ぐ

青森県の津軽地方と 青森県の津軽地方と 青森県の津軽地方と

そこは古くから難所とされ、タクシーの運転手は夏でも夜は怖く走るのが嫌がっている場所、たいていこの場所、平成7年10月城ヶ倉大橋が竣工。橋上からは一面のブナ林が広がる、深谷を122mの真下に眺め、八甲田山や岩木山の絶景はもちろん、青森市街地まで見渡せる名所となりました。

もちろん、ドライブの範囲も広がります。これまで弘前市から八甲田方面に行くには青森市を経由しなければならなかったのが、この橋により一気に行けるようになりました。

日本最大級の規模を誇る上陸式アスファルト橋は、こうして青森県の2つの地方の心を一つに繋いだのです。



光の架け橋

関門海峡に光の橋が架かっています。特に、年越しの瞬間の特別ライトアップは感動ものですよ。